

みんなの広場

発行 所沢市退職校長会
令和4年4月

— 会員相互の交流の場を —

会長 佐々木 正憲

令和4年度を迎え、コロナ禍が発生してから2年以上が経ち、様々な困難なことを経験しましたが、ワクチン開発、治療薬の開発など大きな成果を上げ、明るい見通しが見えてきました。

退職校長会においてもこの2年間ほとんど活動ができない状況が続いています。このような厳しい中どのように会を運営し、進めていくか模索してきました。会員の皆様が直接集まることができないなら、会員相互の交流の場を作ろうということで会報の発行、ホームページの開設などに取り組んできました。更にスマートフォンを活用して、会員の皆様が自由に意見を述べたり、活動の提案ができるような場を作っていきたいと思います。

令和4年度は、コロナに打ち勝ち、コロナ後の退職校長会へ向けての準備の年にしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

My Note

会員の皆様の趣味、活動や楽しく過ごされている様子等を掲載させていただきます。皆様の寄稿をお待ちしています。



『みんなと食べるって、楽しい！』

— 地域で子ども達を支える —

「腹減ったー、今日はなに？」と、飛び込んで来るのは中学生、次に小学生、そして高校生。挨拶もそこそこに台所へ見物に来ます。消毒、検温しながらの会話は久しぶりというより一つの居場所に帰ってきたという感じになっています。

「子ども食堂を手伝ってほしい」と誘われたのは5年前、子どもの貧困や孤食の問題が深刻化してきている時期でした。始めは公民館を借りてやっていましたが地域が広いため分散してやることになり、私はその一つの責任者をしています。私たちの特色は「居場所づくり」（孤食解消）の子ども食堂です。月1回土曜日、使用していない一般家庭の台所とリビングを借りてスタッフ4～5人で調理します。参加者は小学生から高校生まで7人、一人暮らしの高齢者、退職した夫婦（住宅の持ち主）等で毎回14食位、2時間半かけて作ります。メニューは工夫を凝らしてすべて手作りで。子どもたちは楽しみながら完食してくれるので作り甲斐があります。今はコロナ禍で密集しないように黙食に努力していますが、休日ということもありおしゃべりに興じる時もあります。年齢に幅があるので一つの話題に集中することは難しいのですが、一食でもみんなと食事をすることは大切だと思っています。また、この活動は社会福祉協議会、地域の人々の支援や食材の援助がなくては成り立たないので深く感謝しています。

夏休みに「読書感想文の宿題を教えてほしい」と中学生からの要望で何日か我が家で宿題をしました。それから時々声がかかるようになり将来の夢や希望も話すようになり、交流が深まり子ども達の成長がみられるのも楽しみです。社会情勢の変化の中で居場所を失った子ども達の一つの受け入れ場所としてささやかな活動ですが、今後も続けたいと思っています。

（平成22年度入会 須藤とく子）



GIGA スクール構想@TOKOROZAWA (TGS 構想)



～ 子供たちの豊かな創造性を育む学びの場の実現へ ～



『GIGA スクール構想』とは？

社会が急激に変化するこれからの時代に、全国一律のICT環境の整備が急務であることから、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現させるのがGIGAスクール構想です。

これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・子ども達の力を最大限に引き出すために文部科学省から示された事業です。

所沢市の取組は・・・

新学習指導要領では、情報活用能力を言語活動と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけています。そこで、所沢市教育委員会では「GIGAスクール構想@TOKOROZAWA (TGS 構想)」を策定し、構想の実現に向けた指針を示しました。そして、市内小中学校のすべての子ども達が鉛筆やノートと同様に、道具の一つとしてICTを使いこなす情報活用能力を育成し、AIに代替されない子ども達の豊かな創造性を育てています。

『1人1台の端末の環境』の下での授業は・・・

- 【一斉学習】 授業中、一人一人の反応をよりの確に把握できる。
→ 児童生徒一人一人の反応を踏まえた、双方向の一斉授業が可能になる。
- 【個別学習】 各自が同時に別々の内容を学習できる。
→ 一人一人の学習状況やニーズに応じた個別学習が可能。
- 【協働学習】 児童生徒一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有でき、双方向での意見交換が可能になる。
→ 多様な考えにリアルタイムで触れることができる。



～小学校1年生 学校を紹介しよう～

心のエネルギープロジェクト

所沢市教育委員会

- 願い1 子どもたち一人一人は、かけがえのない存在であり、誰もが夢や希望を持てるようにしたい。
- 願い2 自分も友だちも大切にしたい。

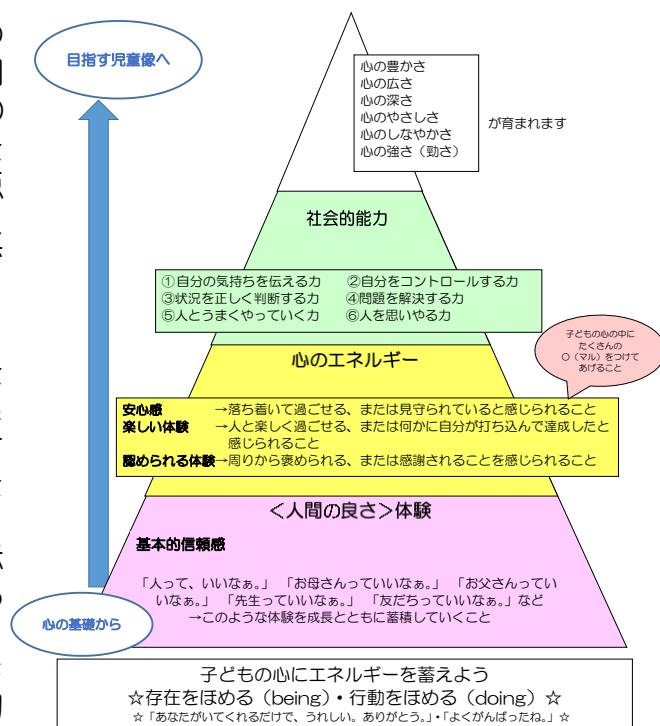
『心のエネルギープロジェクト』とは？

所沢市教育委員会では、かけがえのない命について学校全体で考えていく機会とするため、令和2年度に「今、あなたがいること 一かけがえのない あなただからー」のメッセージ及び映像を作成しました。そして、「心のエネルギー」に重点を置き、児童生徒の自己肯定感の醸成を図るとともに、児童生徒が未来を主体的に生き抜く力を育む取組を推進しています。

各学校の取組は・・・

各学校においては、生命尊重に関する教育等を計画的に実施していますが、特に児童生徒の小さな変化から不安や悩みに気づき、その解消に向けた支援を適切に行うなど、「命」についての取組を積極的に推進しています。

また、校内に「心のピラミッド」(右図)を掲示し、児童生徒へ「あなたには、あなたの良さがある」、「自分自身と同じように、他の人も大切にしてほしい」、「不安や悩みを抱えた時は、信頼できる大人に相談すること」など、成長する上で大切なことをメッセージにして伝え、児童生徒・教職員・保護者と共に考える機会としています。



【 心のピラミッド 】

祝 長寿祝賀会

今年度の長寿祝賀会は、長寿となられた方7名 <令和2年度(喜寿3名)、令和3年度(米寿1名、喜寿9名)> をお迎えして12月14日(火)に開催いたしました。

佐々木会長から、「皆様は、戦前の厳しい時代にお生まれになり、高度経済成長時代の前後に教職に就かれ、現在の教育体制の基礎を作った功績は大きいものがあります。今、人生100年時代を迎えています。皆様の経験と知識を生かして、退職校長会の活動に積極的に関わっていただき会を盛り上げていただきたいと思います。」とお祝いの言葉がありました。その後、長寿の皆様一人一人に記念品を贈呈し、ご挨拶いただきました。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、出席者は理事・本部役員、会場を教育センターとし、懇親会は中止いたしました。



ー 大岩 征子 様 ー

本日はありがとうございました。皆様とお会いできたことが何よりの喜びです。今後とも末永いお付き合いを心よりお願い申し上げます、お礼とさせていただきます。

ー 深田 登志子 様 ー

本日は喜寿のお祝いをしていただきありがとうございました。いつの間にか年月を重ねましたが、これからも心身ともに健康に留意し、米寿、白寿と祝っていただけることを目標にして参加して参りたいと存じます。

ー 田村 征雄 様 ー

このコロナ禍の中、長寿祝賀会を開催していただきましたことに深く感謝いたします。今日、皆様から頂いたお気持ちを心に刻み、更に健康な生活ができるよう心がけたいと思います。本日はありがとうございました。

ー 羽田 禮子 様 ー

コロナ禍の中、長寿祝賀会を開催していただきましてありがとうございました。また、記念品までいただきまして恐縮いたしております。久しぶりにお会いした方が何人もいらっしゃいました。とても懐かしかったです。やはり、会を実施することの意味は大きいと思いました。運営をしてくださいました本部の方々に厚くお礼申し上げます。

ー 金子 美智雄 様 ー

本日は、このような祝賀の会を開催して頂き、ありがとうございます。所沢小学校でお世話になってから、あっという間に17年が経過しました。退職後は、私学の小学校、中学・高等学校、大学に籍を置き、現在は、ボランティアで各種団体の顧問等をしております。健康で本日を迎えられたことに感謝し、次のステップに進みたいと思います。所沢市退職校長会の益々のご発展を祈念いたします。

ー 村松 昌男 様 ー

本日は、我々のために長寿お祝いの会を開催していただきありがとうございました。77年のうち50年間所沢市でお世話になりました。今日の私があるのも所沢のお陰であります。所沢市の先生方、保護者の皆様や子供たちに心から感謝申し上げます。

本日を新たな出発にして健康第一で頑張っていきたいと思います。

ー 神田 哲男 様 ー

本日は、コロナ禍の中、長寿者のためのお祝いの会を開催していただき誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。本退職校長会のますますのご盛会を祈念申し上げます。

≒所沢市立教育センター・視聴覚センター≒

ー 所沢の教育を支える ー

今から 50 年前、教員の資質向上を目指して、現在の所沢小学校前の旧所沢実科高女校舎跡地・図書館跡地（所沢市寿町）に開設された。市町村段階における教員研修機関として県下に先がけた施策は、井上政平教育長のけい眼によるものであり、所沢市教育界に一大変革をもたらす大事業であった。（昭和 57 年 5 月発行、教育センター所報、鈴木政一教育長の挨拶より一部抜粋）

昭和 47 年 4 月、所沢市長や教育委員会の強いリーダーシップにより、退職校長会会員の粕谷喜三氏等のご尽力により、所沢市の教育の振興と充実を図ることを目的に設置された。教職員の力量向上の為に、「教育に関する専門的、技術的事項の調査研究又は教育関係職員の研修に必要な教育機関を設置する」ことが大切であることから、その業務は教育研究、教職員の研修、教育相談、教育資料の収集・貸出とされた。

10 年後の昭和 57 年に国庫補助を受け、現在のけやき台（給食センター跡地）に近代的設備を誇る所沢市立視聴覚センターが設置された。全国で 24 番目、埼玉県下では初めての施設で、視聴覚センター内に教育センターを移転するという形で教育センターの新しいスタートが切られた。

平成 3 年度には埼玉県教育委員会より優良教育施設として表彰された。当時の齋藤博所沢市長からは「教育センターは、教職員の資質向上、人材育成、学校教育の質的向上と活性化への援助、教育相談等の機能をもった施設であります。その機能を十分発揮して発展し続けるとき、所沢市の将来を担う市民の育成につながるものと楽しみにしております。」とお祝いのことばをいただいた。（次号に続く）



＜昭和 47 年当時の教育センター＞

＜沿革史＞

- S47 所沢市立教育センター開設
- S48 嘱託派遣講師制度開始
- S53 電話相談開始
- S54 自主研究員制度開始
- S57 視聴覚センター設置、教育センター移転
- S59 コンピュータ導入
- S61 English Fellow（現 AET）の派遣開始
- S63 本館増築（教育相談室、プレイ室、教育機器室設置）
- H2 教育相談スーパーバイザー制度導入
- H5 適応指導教室（現教育支援センター/クウェスト）開設
- H8 新館増築（視聴覚センター新館に移転、適応指導教室関係の施設設置）
- H10 所沢市教育ネットワークの運用開始
- H25～28 幼児相談室「スマイル」開設
- H26 SSW（スクールソーシャルワーカー）の派遣開始
- H28 校務支援システム（C4th）の運用開始
- R2 「GIGA スクール構想@TOKORO ZAWA」開始、（1 人 1 台端末・大型ディスプレイの ICT 機器等導入）

令和 4 年度事業計画

皆様の参加をお待ちしています！！

※ 詳細は、各案内をお届けします。

- | | | |
|---|-------------------|-----------------------------|
| 1 | 定期総会併せて新入会員歓迎会 | 4 月 16 日（土） 午後 12:00 |
| | | 会場／ベルヴィ ザ・グラン |
| 2 | 研修親睦旅行（退公連共催） | 6 月 7 日（火）～ 8 日（水）＜新潟方面＞ |
| 3 | 歌舞伎鑑賞教室（退公連共催） | 7 月 |
| 4 | 日帰りバス旅行（退公連共催） | 9 月 |
| 5 | 演芸（落語）鑑賞教室（退公連共催） | 11 月 |
| 6 | 「私も元気です」展（退公連共催） | （未定） |
| 7 | 所沢市教育推進研究協議会 | 11 月 11 日（金） 午後 6:00 |
| | | 会場／ベルヴィ ザ・グラン |
| 8 | 受賞・長寿祝賀会併せて忘年会 | 12 月 10 日（土） 午後 12:00 |
| | | 会場／ベルヴィ ザ・グラン |
| 9 | 会員研修会（退公連共催） | 令和 5 年 1 月 26 日（木） 午前 10:30 |
| | | 会場／所沢市立教育センター |

【編集委員】（委員長）丸山 昇 （委員）佐々木正憲、鈴木良明、内野正行、齋藤敏男
◎ 寄稿、ご意見や要望等がございましたら編集委員までご連絡ください。